

授業科目	区分・教育内容		
	専門分野Ⅱ 小児看護学		
授業担当者	開講時期	単位	時間数
平山 雅士 (中通総合病院) 千葉 剛史 (中通総合病院)	前期～中期	1 単位	30 時間
授業の目的 心身の成長・発達の過程や、その異常と種々の疾患を学び、小児の特性に配慮した各疾患の具体的な看護につなげる。			
授業の目標 小児特有の疾患について理解する。			
授業概要 小児は成長・発達の時期であり、病態や疾患が成人とは異なる場合が多い。 小児期に多い疾患を取り上げ、考える。			
授業計画(進め方) <1～8 回目 担当：千葉> 1 回目 成長発達 : 小児の特性としての成長・発達について述べる 2 回目 出生前診断 : 遺伝、遺伝子病、胎児病などについて 3 回目 新生児 : 病的新生児、低出生体重児について 4 回目 内分泌疾患 : 小児期にみられる内分泌疾患(クレチン病、成長ホルモン分泌不全など)について 5 回目 免疫 : 免疫の現象と先天性免疫不全症などについて 6 回目 感染症 : 小児に多いウイルス性・細菌性感染症について 7 回目 呼吸器疾患 : 急性上気道炎や肺炎を中心にのべる 8 回目 循環器疾患 : 先天性心疾患を中心に、川崎病、起立性調節障害など <9～15 回目 担当：平山> 9 回目 消化器疾患 : 小児に多い消化器疾患(肥厚性幽門狭窄、腸重積症など)を中心に 10 回目 血液疾患 : 血液の成り立ち、貧血など血液疾患を中心に 11 回目 腫瘍疾患 : 小児に多い腫瘍性疾患、白血病などを中心に 12 回目 泌尿器疾患 : 腎・尿路の働きとその疾患について 13 回目 神経・筋疾患 : 先天性の神経・筋疾患について 14 回目 精神疾患 : 精神の発達とその障害について 15 回目 小児救急 : 火傷、溺水、熱中症、誤嚥、誤飲などについて			
テキスト 系統看護学講座 専門Ⅱ 小児臨床看護各論 医学書院			
参考書・指定図書			
評価の方法 筆記試験			